



自立

2023年6月発行
社会福祉法人ありのまま舎
(障害者自立企画)

発行・編集責任者

白 江 浩
編 集 佐 藤 環

T982-8544

仙台市太白区西多賀4丁目19-1

TEL 022 (243) 1300

<http://www.arinomama.or.jp>

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

ご寄付のお願い

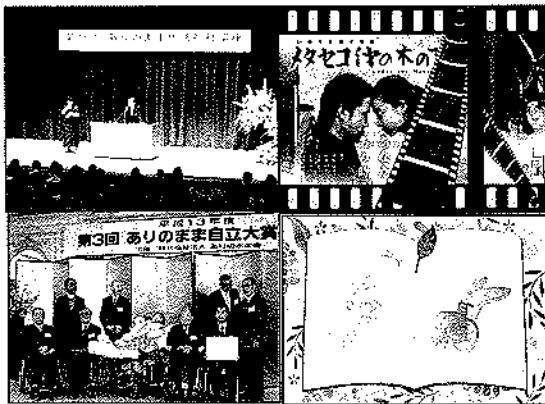
― 寄付減少による厳しい運営 ―

任意団体「ありのまま舎」発足から48年。西多賀病院筋ジス病棟から当事者活動が始まり、どんなに重い難病や障害がある方でも住み慣れた地域で生活できるような支援する活動に取り組んできました。民間初の福祉ホーム設立、難病ホスピスの開所、東日本大震災後には津波で大きな被害のあった亘理地域に相談支援を開所し、地域で暮らす障害を持った方々に寄り添い、支援を続けてきました。

その活動の原点は啓発活動です。当事者の声を社会に伝える出版、映画制作、生活福祉講座や自立大賞の顕彰事業にいただいた寄付を充ててきましたが、ピーク時に年間3000万円ほどあった寄付が東日本大震災以降は減り続け、3分の1以下にとどまっています。さらに、長期化した新型コロナウィルス感染拡大によりバザー会や街頭PR活動の機会が大幅に減少し、収入面で大きな影響を受けました。コロナ対策のための感染症対策の備品、ゾーニングの整備などの費用が増加し、さらには物価高騰、電気代の値上がりなど年々負担は増えるばかりです。

入居者の重度・重症化が進み配置基準以上の職員確保など法人全体の経済基盤を確立していかなければならない厳しい運営を年々痛感しています。

難病や障害を持った方々にとつてまだまだ厳しい状況は続きます。皆様の様々な形のご支援を切に願っております。宜しくお願い申し上げます。



福祉講座、映画制作、自立大賞、本の出版などの啓発活動（ありのまま舎ホームページより）

薫る風

東日本大震災以降、年々ご寄付の額が減少し、昨年は東日本大震災直前に比して3分の1以下になった。その影響は様々な活動の縮小や中止の形になって出始めている。なぜ寄付が減少しているのか。要因はひとつではない。震災支援への集中から多様な活動支援への変化。当舎を応援して下さっている方の高齢化等によるもの。当舎の活動への厳しい指摘の思いも込まれていくかも知れない。戒めとして真摯に、それぞれに向き合い、再びご支援頂けるように頑張りたいと改めて思う。

何年にもわたり匿名で届く寄付がある。住所も名前もなく、しかし、当舎の住所の筆跡は素人の私たちでも同一の方と分かる。どういふ方なのか知りたい。礼状も送れない。会ってお礼を申し上げたい。またお名前や住所が分かっている方も匿名を希望される方も少なくない。寄付額は大きく減っても件数の減少は額に比例せず、まだ多くの人に支えられていることが励みとなっている。そんな時、多額の匿名のご寄付が届いた。地元紙で取り上げて頂いたが、名乗り出て来られる方はいなかった。「難病患者のために」というその方のご意思は、私たちに原点の大切さを改めて思い出させて下さった。匿名であってもなくても、額の多寡に関係なく、私たちに、こうして支えて下さる方がいることが、大きな励みであり、頑張りの源になる。確かに障害福祉事業の規模は必然的に広がり、大きくなったが、それが目的ではないし、資金の使途は限られる。ご寄付でなければできないことも多い。行政や補助金、報酬ではできない谷間で苦しみ続けている人々への支援や、なかなか届かない声なき声を出し続けている方々への支援が当舎の原点だった。活動当初に立ち返り、改めて自分たちの使命を確かめ気持ちを直した

(白江浩)

寛仁親王殿下ご命日(6月6日)を偲んで

〜ご薨去から十一年・ありのまま舎と共に〜

「全身うごかず」(山田富也著)より

第四章 支えてくださった人々へ

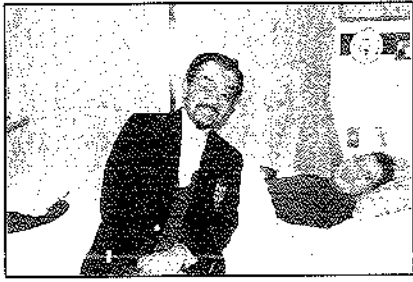
総裁が皇族ということ、いろいろな目で私たちは見られる。皇族ということに対して政治的な目。また、皇族を利用して自分たちの活動を有利に進めようとしている、との目。皇族に真に障害者のこと、がわかるのかという、観念的な目。さらには、もつと単純にただただ「いいえ、という驚きの目等々である。

そのいずれも、私たち自身もかつてはもっていた思いである。そして、そのすべてが間違いだということに気がつくのに、それほど多くの時間はかからなかった。

◆
そもそも、殿下との出会いは二十余年年前、まだ長兄が元気だった頃、「知識から創造を求めて」と題して、今のありのまま生活福祉講座の原型のような講演会を開催したことがあり、その講師を殿下にお願いに伺った時である。

再び私たちが、殿下にお目通りいただいたのは、「仙台ありのまま舎」(自立ホーム)をつくる時である。

まだ福祉法人格もなく、何一つできていない時に殿下にご相談申し上げたら、殿下は実に丁寧に私たちがなすべきことをご指導くださった。



寛仁親王殿下と共に

すでに伝えられているように、殿下は喉頭がんのために何度も手術をされ、死を覚悟されるようなこともあったといわれる。精神的苦痛は、計り知れないものがありました。殿下の対応を見ていると、今の自分の姿が見えてくるのだ。

殿下のお優しいとともに、病のなかで決して挫けず、生きていくとされる者たちへの、連帯のメッセージであるように、私は思える。

ありのまま舎創設者

山田秀人さんを想う・命日を迎えて

波がいくつかの

言葉を語っている

炎がまたいくつかの

言葉を語ってくれる

花火が散って

いくつかの星となる

私たちのささやかな

願いが花となる

私も少しの言葉を持つ

映画「メタセコイヤの木の下で」挿入詩

6月13日は山田秀人さんの命日です。

秀人さんは、二十五年間病院で過ごしました。人生のほとんどを病院で暮らしました。遺されたノートには、小さい文字でびっしりと、たくさん詩が書いてありました。

小さい時から本が好きで、特に文学が好きで、いつも一人で本を読んでいた。人を決して疑わず、ずっと信じ続けていた秀人さんの優しさと、思いやりは秀人さんの詩を読んだだけではなく、触れ合った数々の人々にも伝わっています。

声高に筋ジスの実態を訴えたわけではありませんでしたが、秀人さんの残した言葉には、多くの患者たちが伝えきれなかった思いが凝縮されています。

命日に際し、秀人さんに思いを寄せたいと思います。



贈る人 贈られる人の気持ちを大切に…



FLOWERED

花のフラワード



オンラインショップでは
24時間ご予約承ります。

<http://www.flowered.jp/>

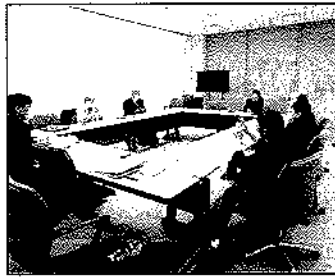
虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-2-9 TEL022-375-4411
泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1 TEL022-371-0311
北仙台店 仙台市青葉区昭和町3-40 TEL022-728-4411

第23回ありのまま自立大賞 面接調査報告

4月21日(金)第一選考委員
会が行われ、4名の方の面接調
査を5〜6月に進めています。
できるだけ直接会ってご本人か
ら活動への思いや書類だけから
では分からないお話をお伺いし
ました。

面接調査には選考委員長の瑠
子女王殿下にも毎回ご臨席賜つ
ています。活動のご苦労、今日
まで活動の原動力になったもの、
今後何を目指していられるかな
どお話を伺いました。

4名の面接調査後、最終選考
を行い受賞者を決定致します。
授賞式ではぜひ多くの皆様と共に
お祝いできればと思います。



第23回ありのまま自立大賞

授賞式

7月22日(土)
14時〜15時30分(予定)

場所 仙台市福祉プラザ

ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター 救急救命講習とAED講習会 開催

3月3日(金) 自立ホームを
会場に太白消防署の救急救命士
の方をお招きして「救急救命講
習会」を行いました。西多賀エ
リアには法人本部、自立ホーム
(グループホーム)、サポケア
仙台(相談支援)が所属してお
り、希望するスタッフが参
加し、心肺蘇生法、AEDの使
い方、止血法、窒息時の対処法
などについて講習を受けました。

昔と対処方法が変わっている部
分もあり、新しいやり方を学ぶ
機会にもなりました。今はスマ
ートフォンが普及したためハン
ズフリーの機能を使って両手を
使える状態でスピーカーから口
頭指導を受けながら傷病者の対
応を続ける方法、心肺蘇生法で
は傷病者の胸が少なくても5cm
(単三乾電池1本の高さ)沈み
込むような圧迫が必要のため、
「心臓マッサージ」という表現
から「胸骨圧迫」というより強



3月3日(金)救命救急講習



5月18日(木)AED講習

表現に変わり、救急車が到着す
るまで胸骨圧迫を続けることが
大切になっていられるとお話が
ありました。自立ホームでは年に数
回、緊急の対応があり基本的な
対応や心構えを学ぶとともに、
職場に限らず、いつでもどこで起
るか分からない緊急時に対して
基本的な知識を学ぶことができ
ました。

自立ホームでは昨年よりAED
設置を進めていきましたが、コ
ロナの影響で半導体の不足が影
響し約一年延期され、ようやく
4月に設置することができまし
た。5月18日(木)にアルソッ
クさんにお越し頂き、講習を受
けました。意識の確認、胸骨圧
迫を行う流れは同じで、AED
が届いたら電源を入れ、パッド
を貼り解析を行います。周りに
スタッフがいる時は119番を
行う人、AEDを持つてくる人
と指示し、胸骨圧迫は交代しな
がら連携して行うことが大切で
す。

今後も定
期的に勉強
会やシミュ
レーション
を行ってい
きたいと思
います。
(佐藤環)

「サポータケア仙台ありのまま舎
(難病・障害者相談支援センター)」
5月8日から新型コロナウイルス
感染症が5類に移行しまし
たが、この間スタッフは週1回
の抗原検査を実施し感染症チエ
ックを行いつつ計画相談支援に
対応しています。

コロナ禍のこの3年間は感染
対策に向き合う中で電話やリモ
ートでの対応を続けざるを得な
い時期もありましたが、最近の
比較的落ち着いてきている中で
は、普段通り対面でお話を伺わ
せていただくことを主として進
めているところです。

しっかりと足を運ばせてもら
って、お互い顔を見ながらマス
ク越しではあってもお話ができ
ること、同じ時間を共有できる
ことが本来当たり前なことであ
ってもありがたいと思える時間
となっています。
事情等によりまだ訪問させて
もらってのお話ができている
方もありますが、その時々々の状
況の中で工夫してできる対応を
しっかりとおこなっていくこと
が大事なのだと改めて感じま
す。

何が「普通」「当たり前」と
いったことなのかを、コロナ対
応だけではなく、普段の動きの
過程の中で意識しながら活動し
ていきたいと思えます。
(齋藤栄樹)

業 務 内 容

社会保険や労働保険手続・助成金申請代理・会社設立・各種許認可申請・労働や経営相談 他

お気軽にご相談ください。

社会保険労務士・行政書士 須田事務所

〒981-0916 仙台市青葉区青葉町16-1・2階 TEL: 022-344-8620 FAX: 022-344-8621

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】
【メディアカル】

緑がまぶしい季節になり、さわやかな風が感じられるようになりほっとしたのもつかの間、寒暖差が激しく体調を崩される入居者が多くいらつしやいました。対応に追われる中、入居者の健康を脅かすものはCOVID-19だけではない・・・と再確認させられる出来事でした。

毎日の入居者の体調に気を配りスタンダードプリコーションの徹底、適切な対応をこれからも心がけ入居者の安心・安全な生活を少しでも支えていきたいと思えます。

COVID-19も5類に引き下げられ新たなフェーズになってきましたが基本は変わらずなと思っています。適切な感染対応をしつつ、入居者、ご家族様、職員の心の中にもさわやかな風を取り入れていきたいと感じる今日この頃です。

(佐久間里美)



【チャイルドケア】

仙台ありのまま舎保育園

梅雨入りも近い頃となり、暑い日も出てきましたね。

先月は咳や鼻水がひどい風邪が流行ってしまい、子どもたちの欠席も多くさみしい日も続きましたが、体調良く暑い日は、園庭で泡遊びを楽しみました。体調がいまいちなかなという日はお部屋で寒天やマカロニなどを使った感触あそびや、きんぎよ探しゲームをし、子どもたちは夢中で大盛り上がりでした。

きんぎよ探しは、感触あそびの準備の時間に大きな紙に筆やペイントローラーを使って自由に色を塗って遊んで待っているとき、きれいな水の色になり、そこから「きんぎよはどこだ」の絵本を思い出し、ゲームをしようとなったものでした。偶然の産物でした。絵の具はあまり混ぜずに用意し、それが素敵な雰



天気の良い日は園庭で泡遊び！笑顔いっぱい、楽しく過ごしました。



(春日麻里)

囲気を出してくれたのも良かったですね。楽しかったです。夢中で遊び満足感を味わうことは子どもたちの発達に必要なんだと改めて深く感じさせられる出来事でした。



名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎】

【難病・障害者相談支援センター】

令和五年度第二回目のインタビューですが、今回は就労継続支援A型事業所で畑作業などの外での仕事に精力的に取り組まれているYさんにインタビューをしました。

一、楽しみにしていること

先輩などを含む友人と釣りや、ツーリングなど出かけることをとても楽しみにしているそうです。また、友人たちは結婚している方も多く、そのお子さんと遊ぶことも楽しみになっているとお話しされています。

二、頑張っていること

人とのつながりを強く大事にしているとのことでした。友人を失いたくないので大切にしていきたいとのことでした。

三、目標について

体調を崩さないこと、そして障害福祉サービスを利用していきなるとのことでした。次のステップとして一般での就労を目指し、とても頑張っている姿が印象的です。関わらせていただいている、私自身もその姿勢から教わることも多いためと感じています。

(佐々木晃)

【サポートケア巨理ありのまま舎】

【難病・障害者相談支援センター】

基幹相談支援センターの役割の一つである、「地域移行・地域定着」の事業の一環として、県立精神医療センターに入院中の患者さんを対象とした退院促進の取り組み「地域で暮らそう座談会(通称「ちいぐらふ」)に参加しています。

この活動は、仙台市精神保健福祉センターと地域の相談支援事業所などが病院を訪問し、入院中の患者さんに向けて地域の情報を発信したり、患者さんの思いを聞いたりする活動です。

長期に入院されている患者さんの中には、退院して地域で生活することに強い不安を持っている方も多くいらつしやいます。そのため、地域の福祉サービスの情報や、実際に同じ病棟から退院された方の経験談などを聞くことで、退院後の生活のイメージを持つことができ、不安を和らげることが期待されます。

病院スタッフの方々からは、「ちいぐらふ会を通して、地域の支援者と患者さんが直接話をするのが刺激となり、退院に結び付いた方もいる」との話を伺いました。

引き続き、精神障害がある方も地域で安心して暮らせるような地域作りを進めていきたいと思えます。

(馬場美和)

【サポートケア県南ありのまま舎
【難病・障害者相談支援センター】
5月12日(金)、ご近所の小規模認可保育園「ペンギンナーサリースクールわたり(武智美樹園長)」様より、「可愛い園児たちと先生方が当事業所にバザー提供品を届けに来てくれました。武智園長様より事前にあるのまま舎への活動協力のご相談を頂き、具体的にバザー品のご提供について広く保護者様などにお声掛けいただき、園児たち一人ひとりが小さな紙袋に商品を入れて持って来てくれた他、力持ちの先生が大きな段ボールに入った商品を届けてくれました。」



地域の皆様からのご支援に感謝です。



1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)

開所し10年目を迎え地道に地域の中での活動に取り組む過程でお付き合いを頂き協力いただいていることを実感できる嬉しい時間もありました。一人ひとりの園児たちから手渡しで商品頂きハイタッチして最後に記念写真を撮らせていただきました。

今後もご協力いただき、そして当事業所としてできる何かを考えていきたいと思えます。ありがとうございました。

(齋藤栄樹)

【難病ホスピスケア亘理ありのまま舎】
【アクティビティケア】

亘理ありのまま舎の日中活動は、入居者や外部からの利用者、ショートステイ利用者等、様々方が利用されております。毎日が違うメンバーで、それぞれ、出来る事や得意な事、好きな事がありません。その「それぞれ」に合った活動をし、利用者が充実した時間や楽しい時間を作ったり、難しいと思っていた事が出来るようお手伝いをしたり、そのような時間を一緒に共有したいと考えております。

日中活動の時間に、利用者皆で合作した、「真珠の耳飾りの少女」の絵を事務所に掲示しました。これは、丸シールを貼り合わせ、組み合わせて、みんなで作りました作品です。完成時

の達成感があつたのと、スタッフやご家族からの反響も上々でした。

これからも、季節に合った創作活動や個々に合わせた活動、天気の良い日には散歩、リハビリ、又は、新しい活動へも、スタッフ・利用者共にチャレンジできればと思っています。それに合わせて引き続き、コロナ感染症予防にも努めて参ります。

(金子仁)



丸シールで作った作品です。事務所に掲示しています。



当舎ホームページのQRコードです。会報「自立」も掲載中です。様々な情報を発信しています。

ありのまま舎後援会(敬称略)

23 4/28〜5/18
【2023年 個人会費】

【2023年 賛助会費】

全国からのご支援、ありがとうございます。事務局 佐藤環

後援会員の皆様

令和5年度後援会費の納入をお願い致します。(会報の同封の郵便振替用紙が使用できます。)

新規会員も募集中です。

【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ
4月分の売上の一部をご寄付頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 1,466円

ありのまま舎(自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア

県南・亘理ありのまま舎)

9,394円

「協力ありがとうございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会のいずみ愛泉教会と、仙台川平教会の皆様、感染対策をとりながら、教会内にてお手伝いいただきました。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。ショップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会(書道) ◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」 ◆仙台シルバーネットの皆様による「読書会」など施設内で行う活動は引き続きお休みさせていただいております。

コロナに対して世の中の考え方が変わり、コロナ前の生活へ戻ろうという流れになってきました。以前のような形で、安心して皆さまとお会いできる日が来ることを願っております。

(遠藤寿子)

スクラップ

「ご支援頂きありがとうございます」
「ございました(敬称略)」

【バザー提供】
23 4/28〜5/27



匿名の寄付に同封されたメモを見て感謝する職員ら

「本」と記された分厚い封筒が昨年12月、仙台市太白区の社会福祉法人ありのまま舎に届いた。バザーの提供品かな。白江浩理事長(67)が封を開けると、600万円分の1万円札の束と「難病者のために「匿名」と手書きされたメモ紙が添えられていた。

ほっとタイム 匿名の600万円に感謝

仙台・ありのまま舎に寄付

難病や重度障害の人々の自立と社会参加を支える法人の活動に、寄付金は欠かせない。尊い志を本の出版や絵画展、映画制作といった表現活動や表彰、生活福祉講座などに充ててきたが、ピーク時に年間3000万円ほどあった寄付が東日本大震災以降は減り続け、今は3分の1以下にとどまる。

「長年の支援者に感謝しているのはもちろんだが、今回の寄付には大いに励まされた」と白江理事長。封筒の差出人に「名前は出さないで連絡してほしい。直接お礼を伝え、使い道も報告したい」と呼びかける。

600万円を難病者のためにどう生かすか。職員たちは知恵を絞っている。(報道部・片山佐和子)

皆様の「ご支援に心より感謝申し上げます。(川尻誠)

【シヨップ提供】
23 5/27
(栗原市) 有限会社アルコン

【バザー開催日のご案内】
《2023年7月》
4日(火) ヨークベニマル山田鉤取
6日(木) ヨークマルシェ大和町店
11日(火) ヨークベニマル南宮成店
13日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
18日(火) ヤマザワ茂庭店
25日(火) 袋原(向日葵ライフ サポートセンター)
27日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば

「ありのまま舎運営協力寄付金」

2023(令和5)年3月20日 河北新報朝刊掲載